

読み物教材中心の学習 小学校（第2学年）

取り上げた内容項目

伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」に関する児童の実態から「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は60%程度であることから、地域の行事に関心をもたせ、参加しようとする気持ちを高めていきたい。

生活（6月）「発見！町へとび出そう」  
 ・自分たちの生活や地域の出来事を、身近な人々と伝え合う活動を通して、地域や身近な人々に関心をもたせる。

国語（6月）「いなばの白うさぎ」  
 ・古くから伝わるお話に接することを通して、自分の住む地域に伝わる伝承があることについて知り、それらに触れてみたいという意欲をもたせる。

- 主題名：「ふるさとを大切に思う心」C-（15）
- 実施時期：7月
- 資料名：「ぎおんまつり」【「私たちの道徳」（小学校1・2年）P154～157】
- ねらい：郷土の文化や生活に親しみをもち、進んで地域に関わろうとする態度を育てる。

段階	学習活動	主な発問等
導入	1 旭川市で行われているお祭りについて知っていることを話し合う。	○旭川市で行われているお祭りについて知っているものはありますか。  ↑【旭川冬まつりの写真】 （予想される児童の発言） ・旭川冬まつりに行ったことがある。 ・夏祭りを見たことがある。
	2 「ぎおんまつり」の読み聞かせを聞き、「ぼく」の心情を自分との関わりで考える。	○見物している人たちから拍手がおこったとき、「ぼく」はどんなことを思ったでしょう。 （予想される児童の発言） ・たくさんの人の拍手と歓声を聞いてうれしい。 ・頑張って練習をして、うまく行ってよかった。

「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた指導のポイント

◆具体的な写真を提示することにより、児童にイメージをもたせ、本時で学習する内容項目に対する関心を高めます。（ICTの活用）

◆児童生徒が、本時でねらいとする道徳的価値を意識化できるようにしています。

段階	学習活動	主な発問等
展 開		<p>○「ぼく」は、どうしてお父さんに「やめたい」と言ったのでしょうか。</p> <p>(予想される児童の発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手にできなくてくやしから。</li> <li>・お父さんに叱られるかもしれないから。</li> </ul>
	<p>3 本時の授業を踏まえ、旭川市で長く続いているお祭りの中で参加してみたいものや、そう思った理由を交流し、自分の考えを深める。</p>	<p>(予想される児童の発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが楽しみにしているお祭りを成功させたいから、もう少しがんばってみよう。</li> <li>・千年続いてきた「ぎおんまつり」を守りたい。</li> </ul>
	<p>旭川市のお祭りなどで参加してみたいものがありますか。また、どうしてそう考えたのですか。</p>	<p>(予想される児童の発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬まつりの雪像づくりに挑戦して、自分の作った雪像を多くの人に見てもらいたい。</li> <li>・地域の盆踊りに参加して、たくさんの人と仲良くなりたい。</li> </ul>
終	4 教師の説話を聞く。	○旭川市で行われるお祭りなどに参加して楽しかった時のことについて話す。
末	5 本時の学習を振り返る。	○今日の学習で考えたことを振り返り、ノートにまとめましょう。

◆人間の弱さについても理解させること（人間理解）を通して、道徳的価値の理解を深めていきます。

### 中心的な発問

◆本時で扱う道徳的価値を自分との関わりで捉えさせます。

★「中心的な発問」と「自己（人間として）の生き方について考えさせる発問」について

- ・「中心的な発問」は、授業のねらいに深く関わる発問であり、本指導資料では特に自分との関わりで道徳的諸価値を理解させることをねらっています。
- ・「自己（人間として）の生き方について考えさせる発問」は、道徳的諸価値の理解を基に自分の生活を見つめさせることをねらっています。

### 自己の生き方について考えさせる発問

◆展開前段で理解した道徳的価値に基づいて、自分と地域の関係を捉え直したり、それらを交流して自分の考えを深めます。

◆教師が身近な行事等に参加し、楽しかったことを伝えるなど、地域に一層親しみがもてるようにします。

### 特別活動（7月）「夏休みの計画」

- ・夏休みを楽しく過ごすために、規則正しい生活の仕方や家庭学習への取り組み方、地域の行事等への関わり方などについて考え、話し合う。

### （授業づくりのポイント①）

読み物教材中心の学習では、児童生徒が登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えさせるように発問を工夫するなど、本時で扱う道徳的価値の理解を深めるようにすることが大切です。